



2022 阿波おどり「総踊り」

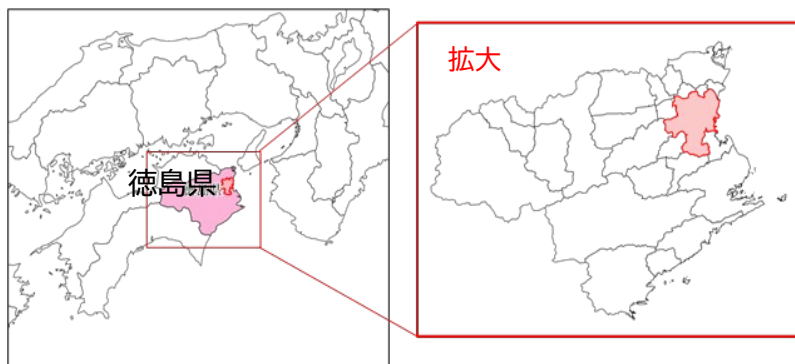
「阿波おどり」を通じた関係人口づくり

令和4年10月11日
徳島市長 内藤 佐和子





徳島市について



水都 とくしま

- ・市内を134の河川が流れ、江戸時代には豊かな水環境を背景に藍産業が隆盛し全国有数の商業都市となるなど、水とともに発展してきた。
- ・川で囲まれた中心市街地の「ひょうたん島」エリアは、阿波おどりなどイベントの開催、親水公園の整備、周遊船の運航など、官民が連携して特色ある事業を推進している。

阿波おどり

- ・400年を超える歴史を持つといわれる、世界に誇る伝統文化であり、国内外から多くの人々が訪れる日本有数のイベントである。

ダイバーシティの推進に積極的なまち

- ・パートナーシップ制度の拡充や生理の貧困問題解消、働く女性の活躍推進など、誰もが自分らしく安心して暮らせる共生社会を実現するまちづくりを進めている。
- ・中心市街地活性化基本計画(R4.3認定)やSDGs未来都市計画(R4.5都市選定、R4.8計画策定)においても、ダイバーシティをテーマとしている。

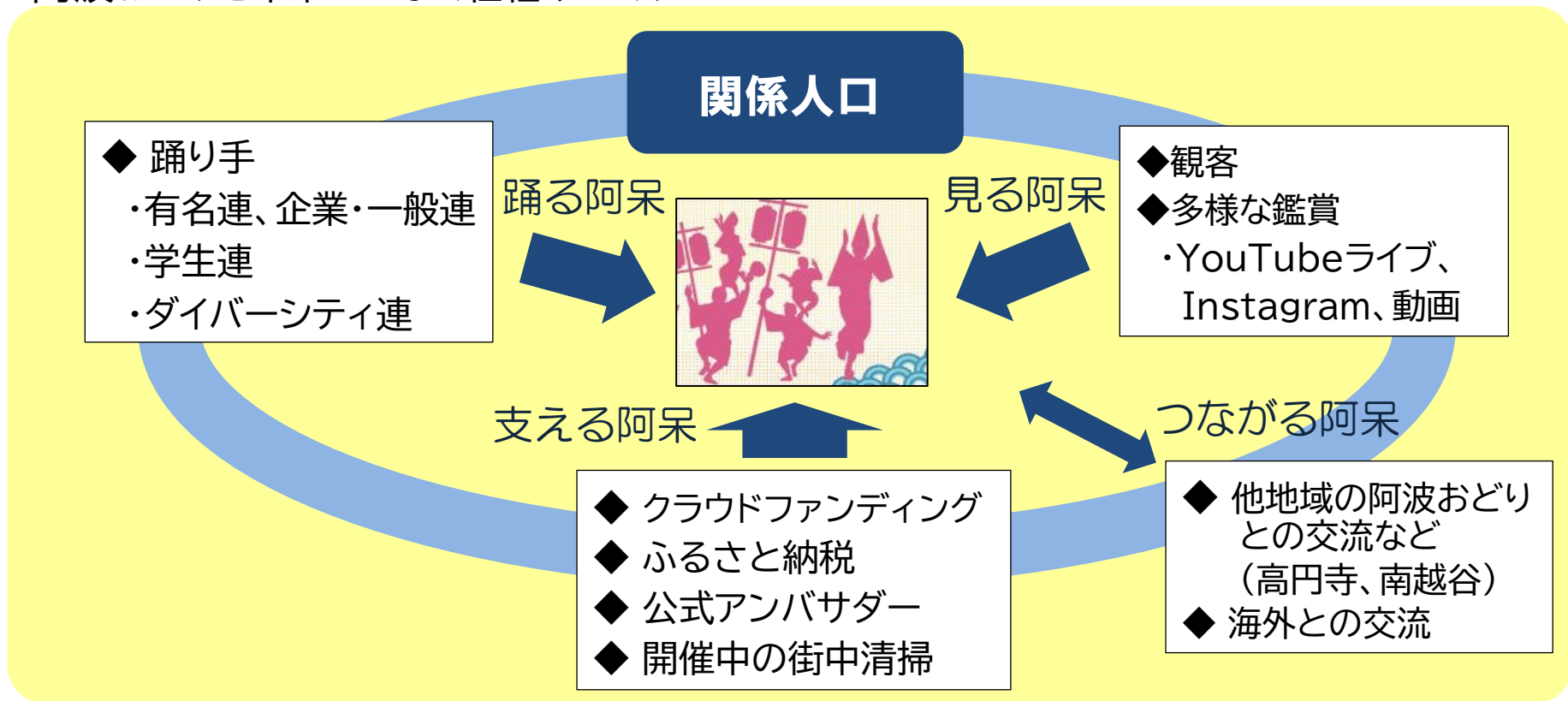


徳島市中心部、通称「ひょうたん島」俯瞰



「阿波おどり」と「関係人口」

阿波おどりを未来へつなぐ仕組みづくり



★関係人口が伝統文化を支え、未来につなぐ

★阿波おどりへの関わりをきっかけに、徳島市のまちづくりへの多様な関わりに発展



お祭りイベントのモデルとして、全国の地方都市へ横展開



近年の阿波おどり実施状況

◎令和2年度 コロナの影響により戦後初の中止（夏）

『ネクストモデル』開催(秋) ～コロナ禍での開催モデル検証～

- ・実行委員会が主催し、県と市が共催して、運営スタッフ、観客、踊り手ごとに、考えられるあらゆる感染予防対策を講じて実施

◎令和3年度 万全の感染症対策を講じた上での縮小開催

『ニューノーマルモデル』開催 ～次世代への阿波おどり継承～

- ・市主催により、コロナの感染状況を踏まえ、屋内会場並びに屋外会場での無観客・ライブ配信による縮小開催

◎令和4年度 3年ぶりに街中での本格開催

『ここからはじまるNEWSTORY阿波おどり未来！2022』

- ・新しい実行委員会のもと、コロナの感染状況に注視しつつ開催
- ・3年ぶりに、徳島市中心部の街中に「ぞめき」のリズムが流れ、観光客や踊り手が笑顔で、街全体が阿波おどりに色に

～コロナ対策～

安心して見に、踊りに来ていただけるよう、デジタル技術を活用した対策を実施



デジタルチケット



体調管理アプリ(踊り手等)



学生連

「徳島の宝」である阿波おどりを次世代につなげていくため、若者の日頃の練習を発表する機会として、選抜阿波おどりに学生連が参加（令和3年度～）



ダイバーシティとくしま連

阿波おどりの魅力を国内外に発信し、ファンを増やしていくことを目的に、多様な人が集まり、お揃いの浴衣やハッピーを着て有名連と一緒に本格的な連として踊り込む連の参加者を広く募集（令和4年度～）

【期待できる効果、実績など】

- ◆市内の高校や大学を卒業して県外に就職しても、**踊り手**や**ファン**として阿波おどりの担い手に
- ◆県外からダイバーシティとくしま連に参加した人が、阿波おどりの**リピーター**に



関係人口<見る阿呆>

YouTubeでのライブ配信

阿波おどり当日会場に来られない人をはじめ、広く全国・世界に阿波おどりの魅力を発信するため、YouTubeでライブ配信（令和3年度～）

Instagram開設

SNSを活用した情報発信としてInstagramを開設（令和3年度～）

観光プロモーション動画

阿波おどり観光プロモーション動画を制作し公開（令和4年度～）

【期待できる効果、実績など】

◆YouTube再生回数

令和3年度 約9万回

◆阿波おどりの魅力を国内外に広くPRし、徳島市への誘客に

- ユーチューバー
- 撮る阿呆



関係人口<支える阿呆①>

クラウドファンディング

阿波おどりに参加しなくても、全国から支援を行える仕組みとしてクラウドファンディングを実施（令和3年度～）



ふるさと納税

徳島市のふるさと納税における、寄附金の使い道メニューに「阿波おどり未来へつなぐプロジェクト応援団」を追加（令和3年7月～）

【期待できる効果、実績など】

◆支援を可視化

○ クラウドファンディング

令和3年度 2,801千円

令和4年度 1,835千円

○ ふるさと納税

令和3年度 25,741千円

令和4年度 増加ペースで推移

(クラウドファンディング支援者の声)

「徳島ならではの伝統。これからも長く続いて欲しいと思います。」

「コロナなんかに負けず、来年も盛大に盛り上げましょう！」

「現地へ行くことができず残念です。離れていますが、応援しています。」



関係人口<支える阿呆②>

阿波おどり公式アンバサダー

徳島市と一緒に、阿波おどりを盛り上げるための情報発信や支援・協力を行ってもらえる人を募集（令和3年度～）

清掃活動

『支える阿呆プロジェクト@阿波おどり』

阿波おどりの運営を支える側として協力したいと集まった学生ボランティアによる取組みであり、阿波おどり開催中にエコブースを開設のうえ、街中の清掃活動を実施



【期待できる効果、実績など】

◆公式アンバサダー登録数

200人(令和4年9月20日現在)

(アンバサダーの活動実績例)

・前夜祭の様子をInstagramに投稿

・阿波おどり画像の提供

⇒ 2022阿波おどり
ポスターに



◆清掃活動に関わってくれた学生が県外に就職してからも、阿波おどりのボランティアをするために来市



関係人口<つながる阿呆>

他地域の阿波おどりととの交流など

各地域の連が相互に踊りに参加しているほか、阿波おどりを通じて杉並区(高円寺)や越谷市(南越谷)とも交流

コロナ禍においては、本場徳島市からの思いをテーマとしたメッセージ動画を高円寺へ

観光姉妹都市である仙台市とは、互いに親善訪問団を送り、それぞれの踊り(阿波おどり、すずめ踊り)を披露

海外との交流

在大阪・神戸米国総領事と、意見交換により交流を深め、阿波おどり期間中の来市が実現(令和4年度)

SNSによる発信のほか、過去には阿波おどりの海外公演も

【期待できる効果、実績など】

- ◆各地域の阿波おどりを互いに盛り上げ、**持続可能な祭り**に
- ◆阿波おどりを通じて、**首都圏**などで徳島市の**魅力をPR**
- ◆アフターコロナと大阪・関西万博開催を見据え、**世界とのつながり**を深化



<阿波おどり観光プロモーション動画>

洗練された踊りや鳴り物、浴衣を中心とした画像に加え、阿波おどりにまつわる伝統工芸などの日本文化、徳島市の美しい風景を紹介